



# グリーンポトスニュース

38号：2000年10月

秋風が吹き、温かいものが恋しい季節になってきました。そろそろ風邪の予防を考える季節となりました。そこで、今月の話題は『インフルエンザ 予防接種』です。

## インフルエンザ 予防接種

急に寒くなり、風邪をひいてしまった方も多いのではないのでしょうか。これから冬にかけてインフルエンザの季節です。インフルエンザは、その年により、ウィルスの形が変わるため、毎年、予防接種をする必要があります。以前は、毎年のウィルスを同定するのが困難で、副作用の問題もあり、あまり行われなくなりました。最近ではWHO(世界保健機関)が中心に国際的な協力の中でウィルスを同定するため、確率が極めて高くなったことと、一昨年の大流行によって、予防接種の有効性が見直されました。

インフルエンザで、問題なのは体力のない乳幼児や高齢者が罹った場合、死亡する危険性があることです。アメリカなどの先進国では、インフルエンザにより、年に10~20万人が入院し、1~4万人も死亡しているとの報告があります。日本では、このような詳細な調査はされていないので、はっきり分かりませんが、同じような状況であると考えられています。

予防接種の有効性は、ワクチン株と流行株が一致した場合、その感染防止効果は健康成人では、70~90%認められています。老人ホームにおける感染防止効果は、30~40%と低下しますが、入院を防止する効果は50~60%、死亡を防止する効果は80%に認められています。

予防接種の回数ですが、2000年度より、13歳以上の成人は1回接種にても効果があることになりました。しかし、1回よりは、2回接種したほうが、予防できる確率が高くなります。今年は、流行が予想されているインフルエンザが、例年と比較し、変異が大きいため、2回接種をお勧めします。特に高齢者など体力のない方は、必ず、接種してください。

かめざわクリニックは、10月よりインフルエンザの予防接種を実施しておりますので、ご相談ください。

